

令和３年度 第１回杉戸町環境審議会会議録

期 日 令和３年６月２４日（木）
午前１０時００分～午前１１時００分
場 所 環境センター ２階会議室

会議録様式

審 議 会 名	令和３年度 第１回杉戸町環境審議会
開 催 日 時	令和３年６月２４日（木） 午前１０時００～午前１１時００分
開 催 場 所	環境センター ２階会議室
会 議 の 議 題	（１）会長及び副会長の選出 （２）杉戸町環境基本計画第４期実施計画実施状況について （３）第２次杉戸町環境基本計画の策定について
公開・非公開の別	公開 ・ 非公開 （公開の場合傍聴者数 １人） ※書面開催のため、傍聴者なし。
	（非公開の場合理由）
出席委員氏名	藤城一巳 早乙女行雄 高崎勝美 高橋明 福田真道 坂本正博 佐藤杉弥 戸賀崎邦雄 山崎雅男 遠藤清 中村和孝
審 議 の 概 要	・別紙のとおり。

発 言 の 内 容 ・ 説 明 等

議題（１）会長及び副会長の選出

事務局案を提案し、承認された。

会 長：坂本委員

副会長：早乙女委員

議題（２）杉戸町環境基本計画第４期実施計画実施状況について

・事務局より実施状況報告書の内容について説明した。

・質疑応答

質問 進捗がＡランク・Ｂランクに近づいていないものについてどのように考えているか。

回答 進捗状況に関する評価は担当各課の自己評価であるためばらつきがあるが、施策の所管課ごとに取り組を進めるとともに課題の分析を行っている。

質問 目標指標で斜線になっている部分というのは、情報が無いということか。

回答 前年度のデータが無く、確認がとりづらいものをこのような表記にさせて頂いている。
現行計画の最終年度に全体の総括を報告する際には、改めて確認していく点と考えている。

質問 斜線でなく「把握出来ていない」となっているが、データとしては存在するが整理出来ていないということか。
数値データが出しにくいので斜線というのはあり得ると思うが、特に化学物質、エネルギーについては毎年きちんと記録されているべきと思う。データ年度がばらばらな点について、状況を伺いたい。

回答 データによっては県や国の報告書を参照しているため、令和２年度に確認出来ているが、最新のデータとしては平成２８年度版であったり、令和元年度版であったりということになる。
それ以上の最新資料が存在しないため、このような表記にさせて頂いている。

質問 データによっては杉戸町内に観測施設はないが、町外には観測施設があり、毎日のデータがモニター可能なものもある。
電気使用量については県の方からしかデータが取れないという事は町としての調査が足りないのではないかという気がする。
町として全般に、年次ごとに記録されるべき数値データを収集する一般的な方策が出来ていないということか。

回答 町施設の電気使用量は把握出来ているが、事業所や各家庭については確認が出来ていないため、今後確認していきたい。

意見 例えばエネルギーについて、太陽光発電は A 評価で、啓発もある程度出来ているということだが、温室効果ガスの項目を見ると数値的には策定時に対して 6%削減が目標であり、目標に対して大幅にオーバーしているという状況であるため、こういった所を見える化して町民の皆様にも分かってもらい、環境課以外の各課にも企業にも理解してもらうように、例えばホームページでグラフを公開するとか、逐次の排出オーバーを連絡するなどしていく必要がある。
また、政策として行っている新エネルギーの活用の効果がどうであったとか、エネルギー削減の意識を高めるといった活動があまり実を結ばないのではないかという懸念があるので、まずは数値として取れるデータをきちんと取れる体制を、環境課の努力だけではなくて、杉戸町として行う必要があると思う。

質問 環境の目標指標「BOD 測定結果」については、倉松川についても古利根川・中川と同じように測定できるのではないか。

回答 BOD 測定結果については、埼玉県による水質調査結果を参照しており、調査結果から現況値を確認できたのは古利根川及び中川のみであったため、倉松川の最新状況としては斜線の表記としている。

質問 環境の目標指標「大気中のダイオキシン類濃度」について、進捗状況として現時点での測定は可能なのではないか。また毎年測定をしてはどうか。

回答 今後は、廃棄物焼却炉など特定施設設置者から埼玉県に報告されているダイオキシン類濃度の測定結果取りまとめ等を参考としながら数値の把握に努めていく。

質問 施策「剪定枝、雑草、落葉など農業への活用の推進・研究」について、落葉などの堆肥化を図り、有機肥料としての活用を考えてはどうか。

さらに「生垣設置制度奨励補助制度」と併せ、成長後の剪定枝・葉等の収集対策も考慮してはどうか。結果として環境センターでのごみ焼却量の減少につながるのでは。

回答 剪定枝等の活用については、チップ化を行う粉碎機を導入するなど環境課でも取組を進めているため、ご意見は今後の施策推進のため担当課に情報提供する。

また、他施策との融合という考え方も今後の施策推進のため併せて情報提供する。

質問 施策「ごみの発生抑制のための意識啓発」「3 Rの推進」について、3 R運動の実行を図り、住民の意識啓発を高めるためには、特に新規住民へ町としての取組を理解してもらうことが重要なのでは。

回答 意識啓発に関しては、効果的な手法を使っていくのは勿論大切だが、そのターゲットを適切に設定することも同じように重要と考える。今後の効果的な施策推進のため、担当課に情報提供する。

議事（３）「第２次杉戸町環境基本計画の策定に関する報告」

- ・事務局より第２次計画策定の経緯、策定スケジュール及び策定に関わる組織について説明
- ・質疑応答

質問 世界的に SDGs が注目されているため、次期計画への落とし込みであるとか、その計画の中に 17 のターゲット等をこの中に入れる必要があると思うが如何か。

回答 SDGs について、2030 年までに達成すべきターゲットは町の各計画でも取り入れるようにしているため、環境基本計画の中でも「環境項目と 17 のゴールの対応」「各施策と 17 のゴールの対応」など落とし込みの作業は行っていくものと想定している。

質問 令和 5 年に新しい計画が始まるのであれば、スケジュール的にもっと忙しくなるのではないかと思う。令和 4 年の作業では、会議を二か月おきくらいに開催しないと間に合わないのではないか。

回答 スケジュールは本日時点の案であり、作業の進捗等により、会議回数または時期については変動すると考えている。

意見 情報提供を兼ねてになるが、「SDGs 未来都市」という国が策定している指定都市に選定されている近隣市町もあるため、もし何かあれば相談することもできるかと考える。
SDGs については、実は既に役場等でも実行している取組が多くあるため、全般的に計画に落とし込もうとせず、出来る事をピックアップしていくのがいいかと思う。
スケジュールに関して、先ほど進捗のことで意見したとおりで、現況をまずきちんと把握しておかないとそれを土台として次が作れないという事になる。その作業はきちんとやって頂きたいと思う。